

モデノスクリーン・ファインスクリーン 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結晶は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分ご注意ください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工時は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- 柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- 柱の水抜き穴はモルタル等で塞がないでください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- スクリーン本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- スクリーンをみだりに改造、変更しないでください。
- 本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- スクリーンに電線等を直接載せないでください。
- 樹脂材の場合には、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が破損する恐れがあります。



使用上のご注意について

- スクリーンに鉢等をかける場合は、1個5kg以下にしてください。またスクリーン1枚あたり15kgを超えないようにしてください。
- 樹脂は、弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール（水でうすめたもの）には優れた抵抗性を持っていますが、濃酸、濃アルカリ、又シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- スクリーンの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は微小火源では着火しにくくなっていますが、火気には十分ご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

ラミネート・樹脂製品のお手入れ方法について

- 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
- 年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
- 汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

■樹脂製品の洗浄方法

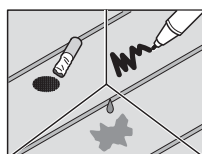
- ①台所用中性洗剤を所定の割合で水で希釈し、雑巾やデッキブラシなどで部材の長手方向に擦るように拭いてください。
- ②なかなか除去できない汚れやしみがあがる場合は、台所用漂白剤を使用してください。
※ムラにならないよう全体に塗り広げて洗浄してください。
- ③最後に水で洗剤をきれいに洗い流してください。

※雨などに濡れた場合、表面の濡れは自然に乾燥します。しかし、庇などがあって雨に濡れる部分と濡れない部分ができるような場所では、乾燥時にその境目が帯状の跡となってしまう場合があります。これは雨に含まれる汚れや樹脂表面の汚れが付着しているだけなので、水洗いで簡単に落ちます。

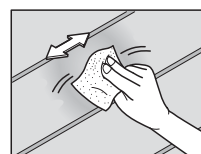


■樹脂製品の汚れ・キズ等の補修方法

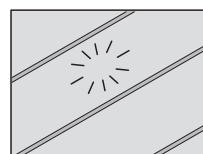
- ①表面の汚れを雑巾などで拭き取ってください。
- ②汚れやキズのある部分をサンドペーパー（＃40～60）を長手方向に擦り、新しい層を出します。
- ③最後に表面を水洗いし、削り粉を取り除きます。
※サンディング方法により表面の木目感が若干異なる場合があります。



タバコの焦げ・マジック・油など



＃40～60 サンドペーパーにて



完了

注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締付けしないでください。破損の原因となります。



本説明書では、モデノスクリーン・ファインスクリーンで共通する施工手順については、モデノスクリーンのイラストで示しています。

もくじ

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。
また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 施工説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は
使用しないでください。

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包明細	2
デザイン例	2
納まり図	3
1. 本体の切詰め	4
2. 柱の設置	4
2-1. 独立タイプの場合 （※モデノスクリーン・ファインスクリーン共通）	4
2-2. 壁付タイプ・多スパン壁付タイプの場合 （※モデノスクリーンの場合のみ）	5
2-3. 段違い独立タイプの場合 （※モデノスクリーン・ファインスクリーン共通）	6
3. 胴縁の取付け	7
4. 格子・パネルの取付け	8
施工工事店様、販売店様へのお願い	8

梱包名称		梱包内容
胴縁セット		胴縁 (2) ・ ϕ 4 × 25 トラスタッピン 3 種 (50)
格子 セット	H:2000 (2 本入り)	格子 (2)
	H:2800 (3 本入り)	格子 (3)
パネルセット		パネル (1) ・ ϕ 4 × 16 トラスタッピン 3 種 (8)
柱セット	H:2000/	柱 (1) ・ ϕ 5 × 16 トラスタッピン 3 種 (16) 施工説明書 [ME-1686] (1) ・ 取扱説明書 [MET-1046]
	H:2800	柱 (1) ・ ϕ 5 × 16 トラスタッピン 3 種 (16) 施工説明書 [ME-1686] (1) ・ 取扱説明書 [MET-1046]
壁付セット		端部格子 (2) ・ 壁付金具 (4) ・ ϕ 5 × 16 トラスタッピン 3 種 (8) M6 プラグボルトセット (8) ・ M6 用平座金 (8) ・ M6 用バネ座金 (8) ϕ 5 × 16 トラスタッピン 3 種 (16) ・ 施工説明書 [ME-1686] (1)
エンドキャップ		胴縁キャップ (4)



梱包されている「M6 プラグボルトセット」はコンクリート仕様
です。コンクリート以外の場合は、現場手配してください。

デザイン例

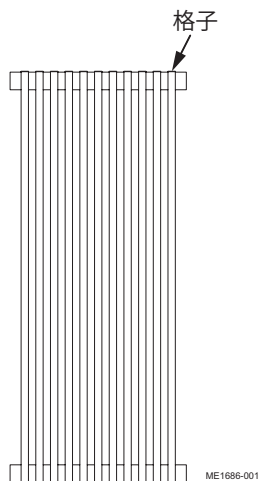
- 下記は一例です。他の組合せも可能です。各営業所にお問い合わせください。
- 「モデノ」はモデノスクリーンを、「ファイン」はファインスクリーンを示しています。



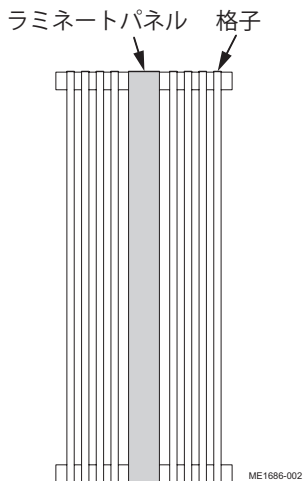
1 スパンには必ず下記の本数の格子を取付けてください。

- ・モデノスクリーンの場合 : 格子 11 本 (パネルは格子 3 本分で計算してください。)
- ・ファインスクリーンの場合 : 格子 11 本

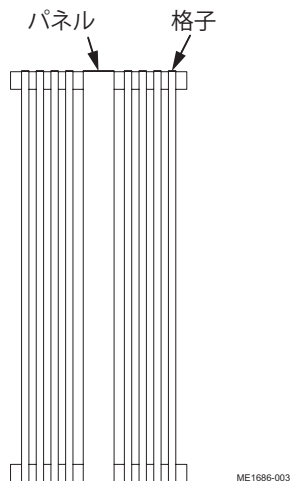
●モデノ：デザイン例 1



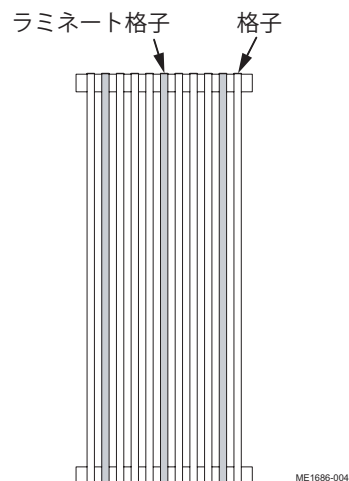
●モデノ：デザイン例 2



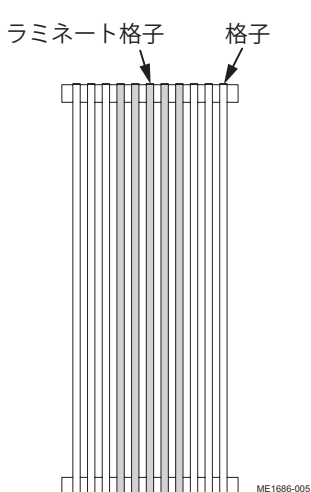
●モデノ：デザイン例 3



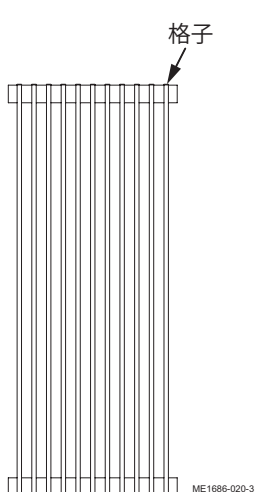
●モデノ：デザイン例 4



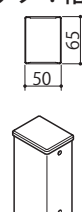
●モデノ：デザイン例 5



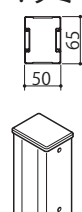
●ファイン：デザイン例



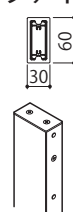
●モデノ：格子



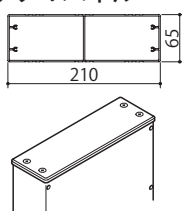
●モデノ：ラミネート格子



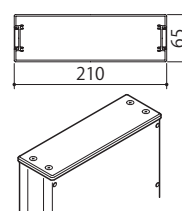
●ファイン：格子



●モデノ：パネル



●モデノ：ラミネートパネル



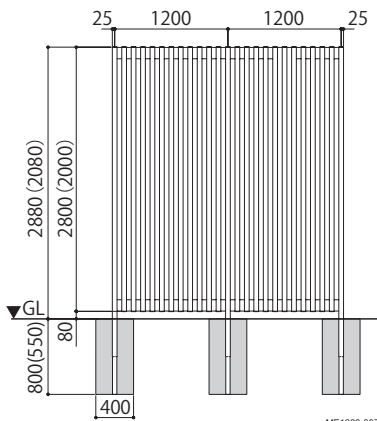
納まり図

- 施工前に必ず確認してください。
- () 内寸法は、H:2000 の場合を示しています。
- 「モデノ」はモデノスクリーンを、「ファイン」はファインスクリーンを示しています。

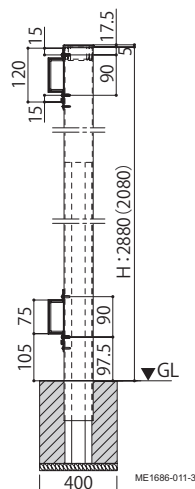
独立タイプ (モデノ・ファイン共通)

●基本納まり図

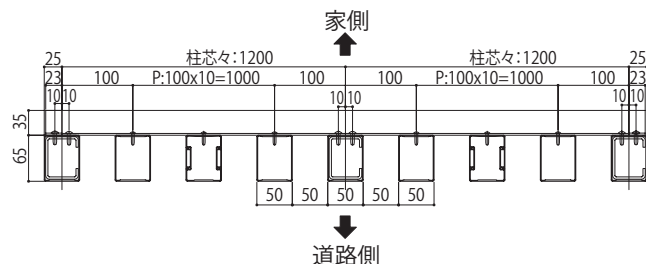
※本図は、モデノスクリーンの場合を示しています



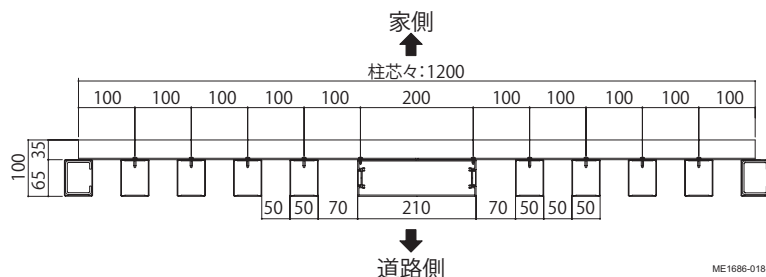
●縦断面図



●モデノ：独立タイプ横断面図 (格子納まり)



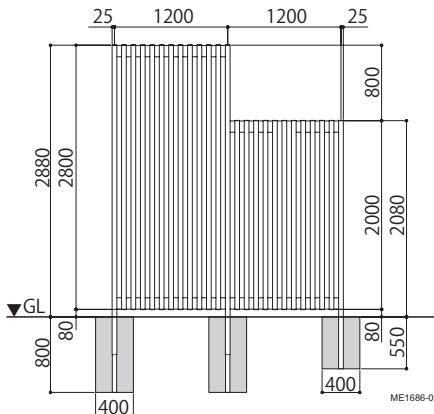
●モデノ：独立タイプ横断面図 (パネル格子納まり)



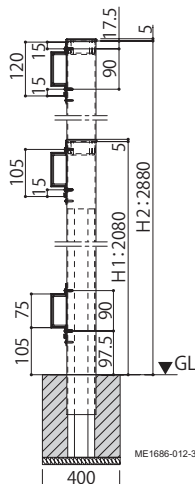
段違い独立タイプ (モデノ・ファイン共通)

●基本納まり図

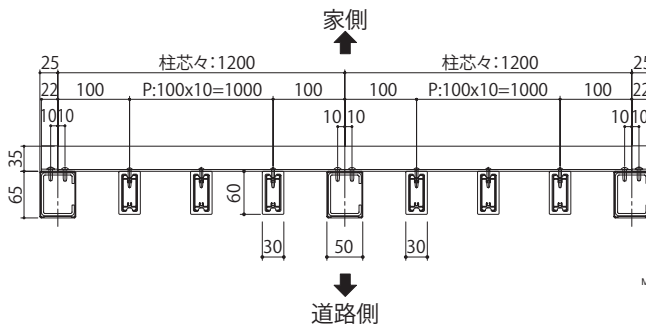
※本図は、モデノスクリーンの場合を示しています



●縦断面図

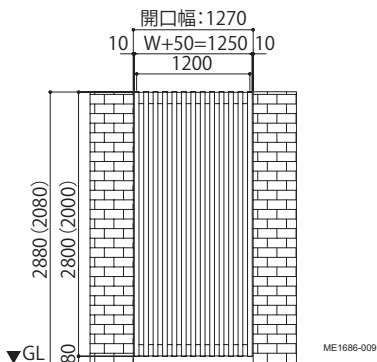


●ファイン：独立タイプ横断面図 (格子納まり)



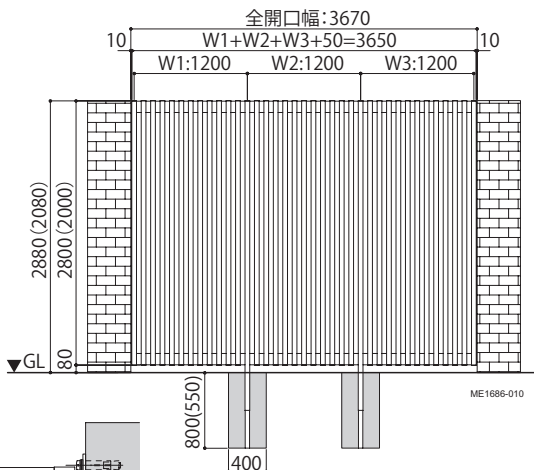
壁付タイプ (モデノのみ)

●基本納まり図

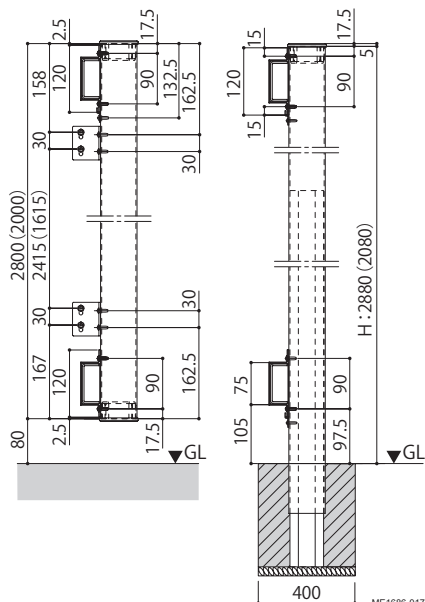


多スパン壁付タイプ (モデノのみ)

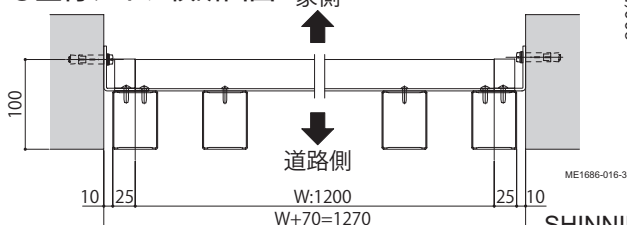
●基本納まり図



●縦断面図



●壁付タイプ横断面図



1

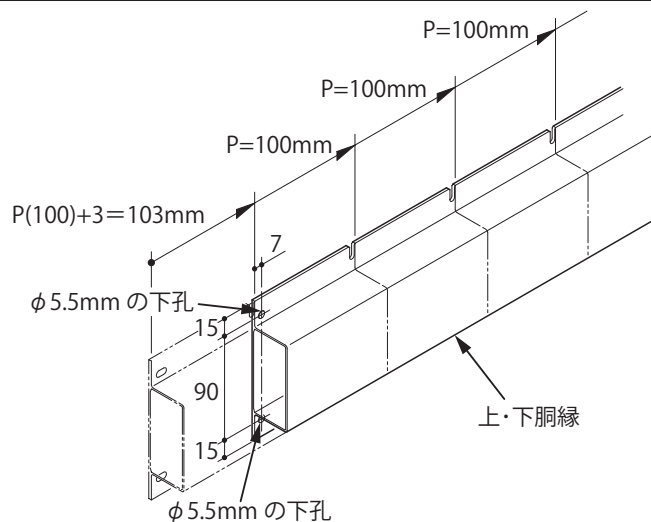
本体の切詰め

- 現場寸法に合わせ、切詰めを行う場合に参照してください。
- 指定のピッチでのみ切り詰めが可能です。



本商品は指定の切断寸法で切詰めてください。
指定の位置で切断しないと、格子が取付かなかったり、がたつく恐れがあります。

- ①上・下胴縁を指定のピッチで切断してください。
- ②切断後、上・下胴縁にφ 5.5 mmの下孔をあけてください。



ME1686-101

2

柱の設置

- 各タイプの納まり寸法を納まり図で確認してください。
- 壁付タイプ・多スパン壁付タイプはモデノスクリーンの場合のみとなります。



H:2800 用の柱には補強材があります。



地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。



位置とレベルを合わせてください。

道路側
家側

柱芯々:1200±調整巾5mm

柱

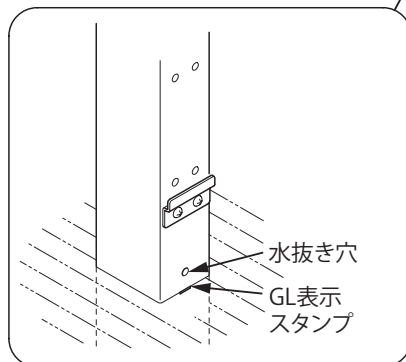
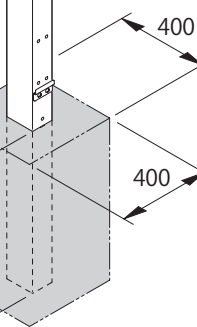
受け金具
※金具側が家側

柱

H2000:2080
H2800:2880

GL

H2000:550
H2800:800



水抜き穴
GL表示
スタンプ



GL 表示スタンプを
目安にしてください。

ME1686-201

2-1 独立タイプの場合

(※モデノスクリーン・ファインスクリーン共通)

- ①「納まり図」で柱の埋め込み位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

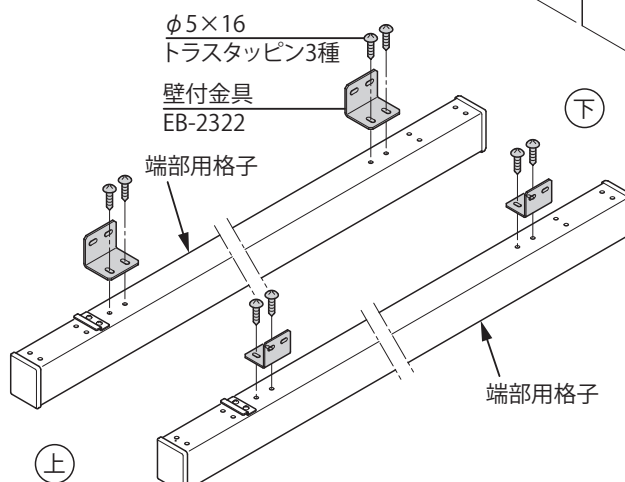
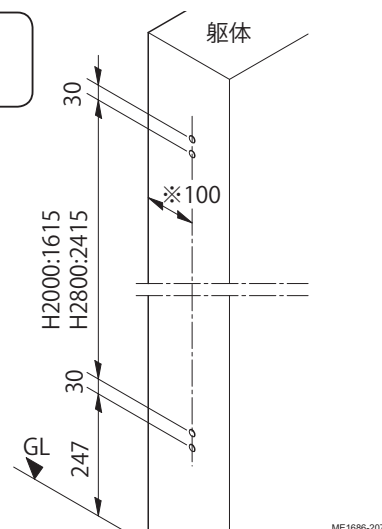
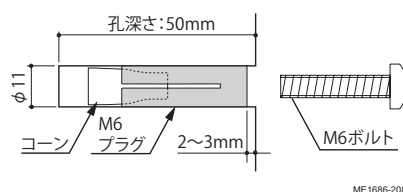
2-2 壁付タイプ・多スパン壁付タイプの場合 (※モデノスクリーンの場合のみ)



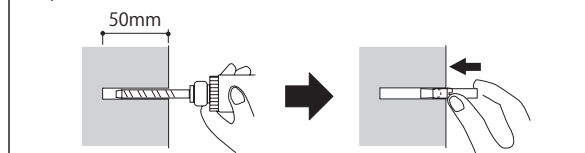
躯体に十分な強度があることを確認して、アジャストアンカーを施工してください。

- ①「納まり図」で寸法を確認し、下記の要領で M6 プラグを躯体に取付けてください。

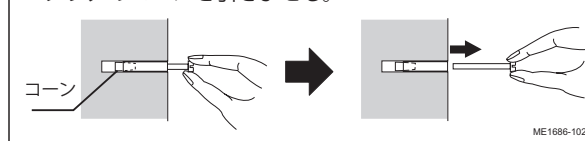
●詳細図



- ① φ11mmの孔をあける。 ② プラグを孔に差込む。

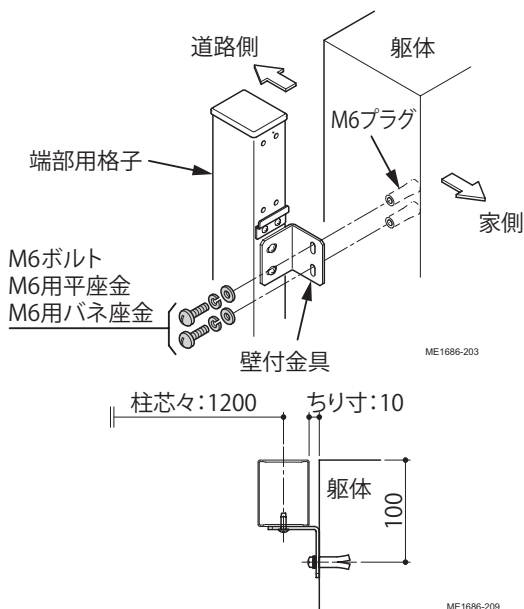


- ③ M6ボルトを回し込んで、プラグのコーンを引きよせる。 ④ M6ボルトを外す。

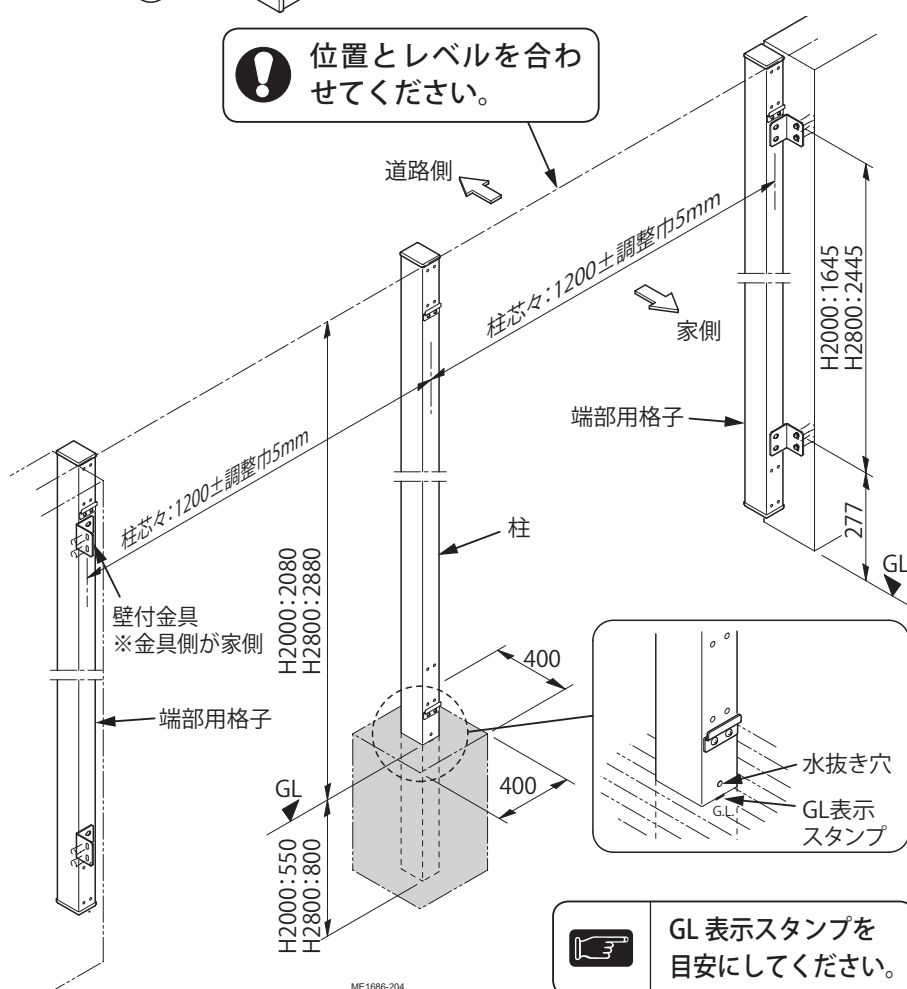


- ② 壁付金具を端部用格子に取付けてください。

- ③ 家側に受け金具がくるように、端部用格子を躯体に取付けてください。



- ④ 多スパン壁付タイプの場合は、接続部に柱を埋め込んでください。



位置とレベルを合わせてください。



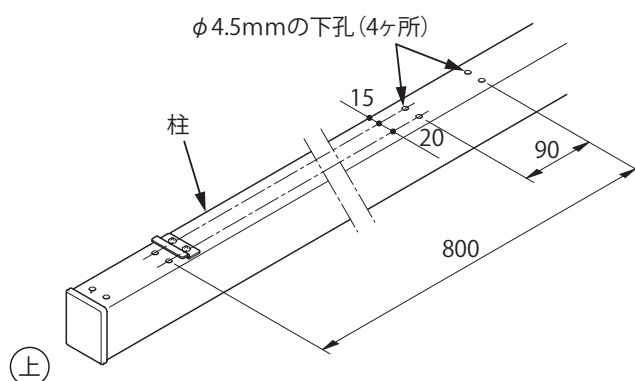
GL 表示スタンプを目安にしてください。

2-3 段違い独立タイプの場合（※モデノスクリーン・ファインスクリーン共通）

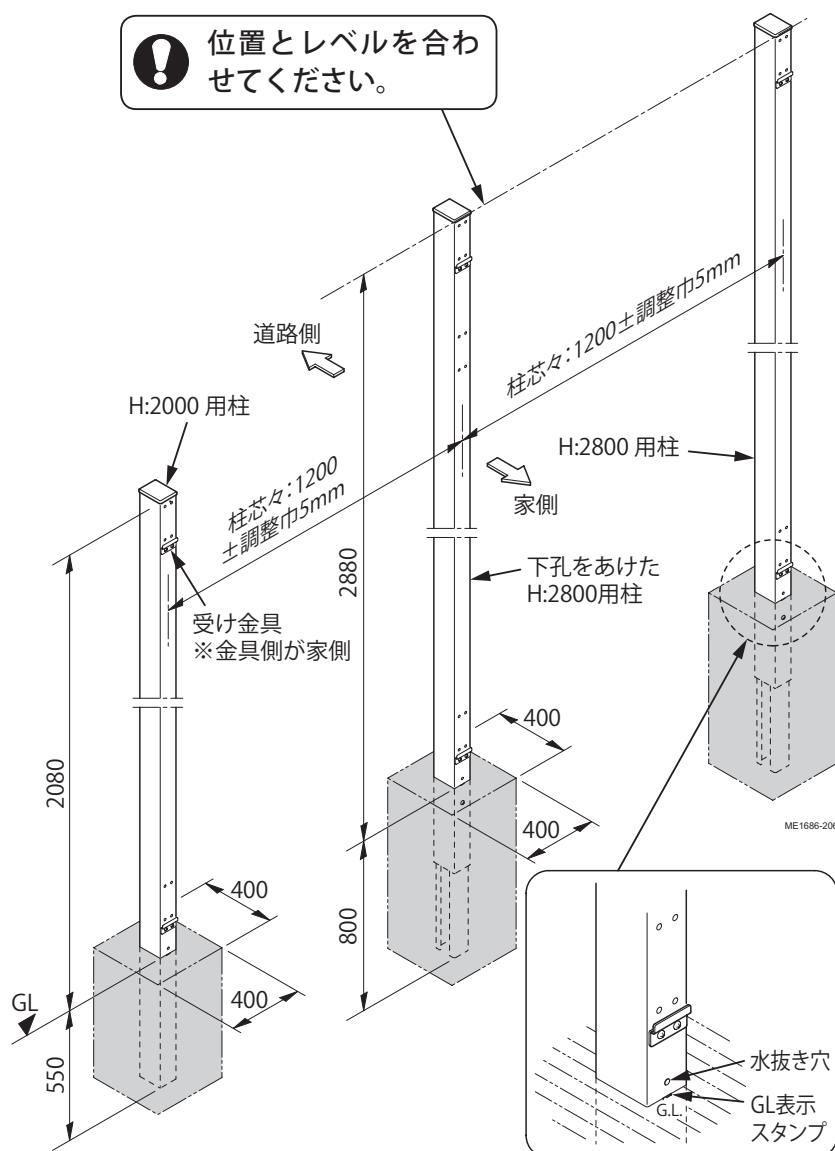


図は、H:2000+H:2800 で2 スパン設置する場合を示しています。

- ①接続部が段違いになる H:2800 用の柱に、胴縁取付用下孔 $\phi 4.5\text{mm}$ を4ヶ所あけてください。



- ②「納まり図」で柱の埋め込み位置やレベルを確認し、柱を設置してください。



GL 表示スタンプを目安にしてください。

3

胴縁の取付け

- ① 胴縁の下側を受け金具に引っ掛け、柱に上・下胴縁を取付けてください。

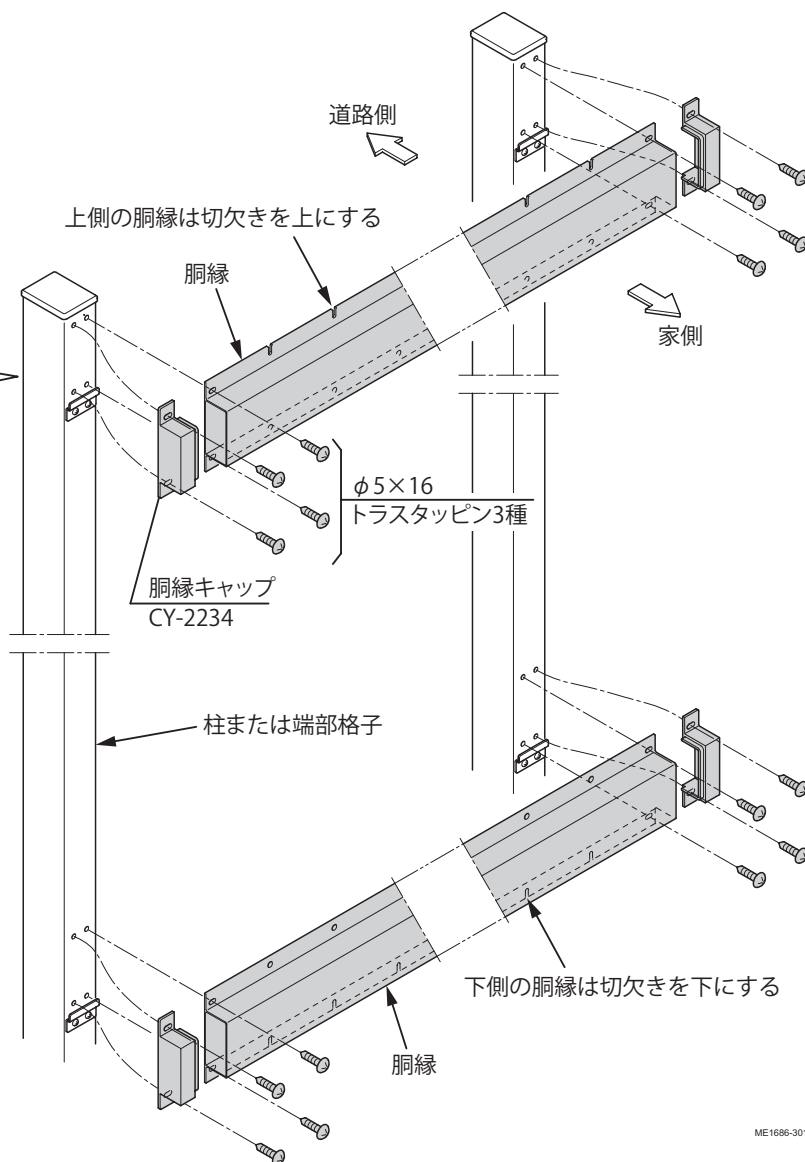
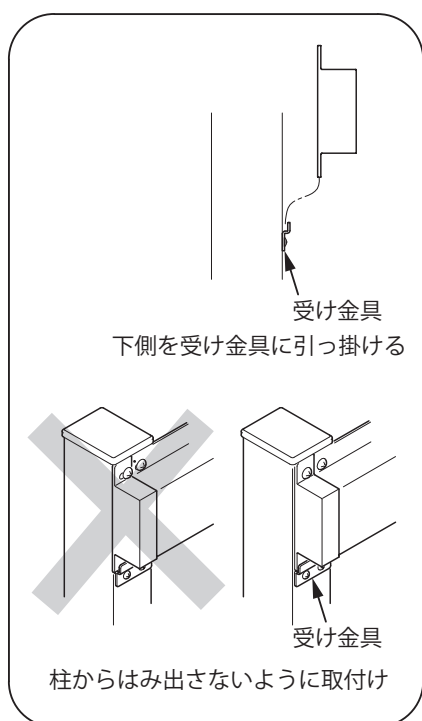


上側の胴縁は、切欠きが上、下側の胴縁は、切欠きが下になるように取付けてください。

- ② 同様に、胴縁キャップを胴縁端部に取付けてください。

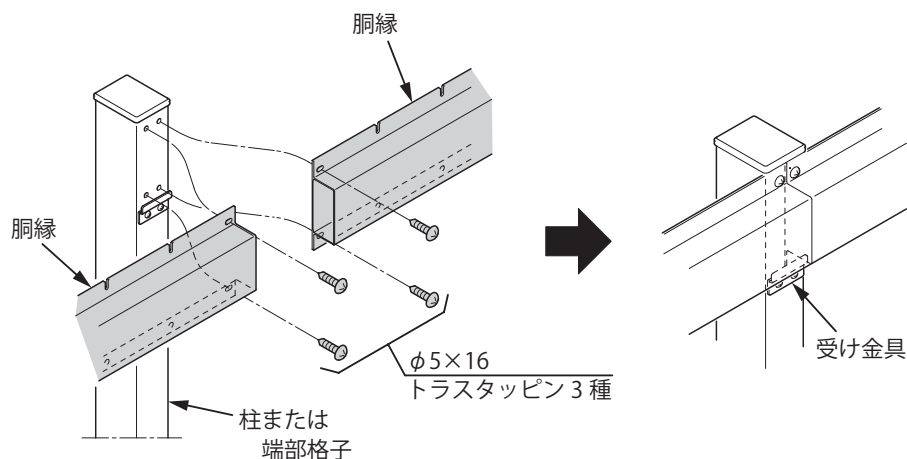


胴縁キャップが柱からはみ出さないようにしてください。



ME1686-301

● 連結部分の取付け



ME1686-302

4

格子・パネルの取付け

①格子およびパネルの端部に、ビスを仮止めしてください。

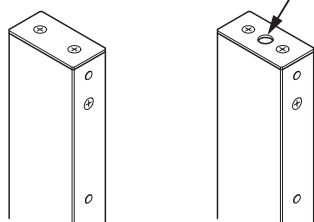


格子 : ビス 1 個 ※格子とパネルで、ビスの長さが異なりますので、注意してください。
パネル : ビス 2 個



ファインスクリーンの場合は、格子に上下の区別があります。水抜き穴のある側が下側になります。

●上側 ●下側 水抜き穴



②上胴縁の切欠きに、格子のビスを引っ掛け、格子を仮止めしてください。



1 スパンには必ず下記の本数の格子を取付けてください。

- ・モデノスクリーンの場合 : 格子 11 本
(※パネルは格子 3 本分で計算)
- ・ファインスクリーンの場合 : 格子 11 本

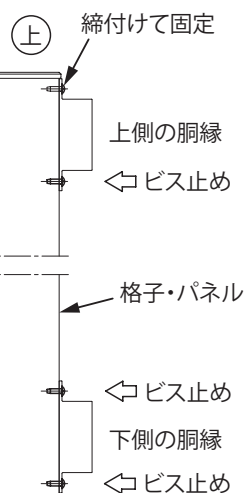


- ファインスクリーンの場合は、リサイクル素材（再生木）を使用しているため、色調限度範囲内での色のばらつきがあります。
- 施工時は、スクリーン格子の色を全体に分散させて取付けてください。

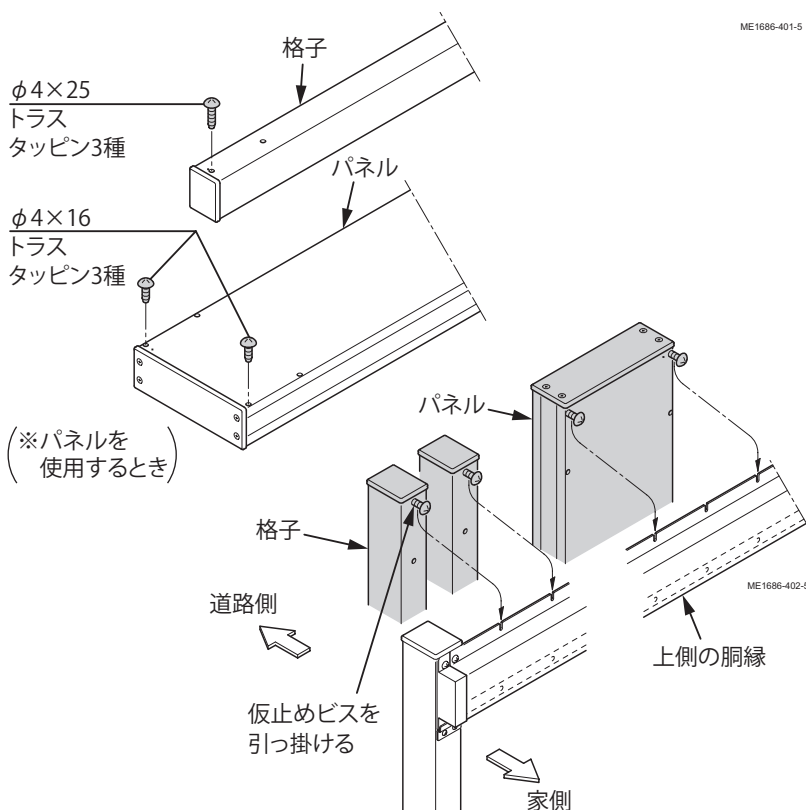
③全体の位置調整後、残りの取付孔をビスで固定してください。



仮止めしたビスを含め、ビスを確実に締付けてください。

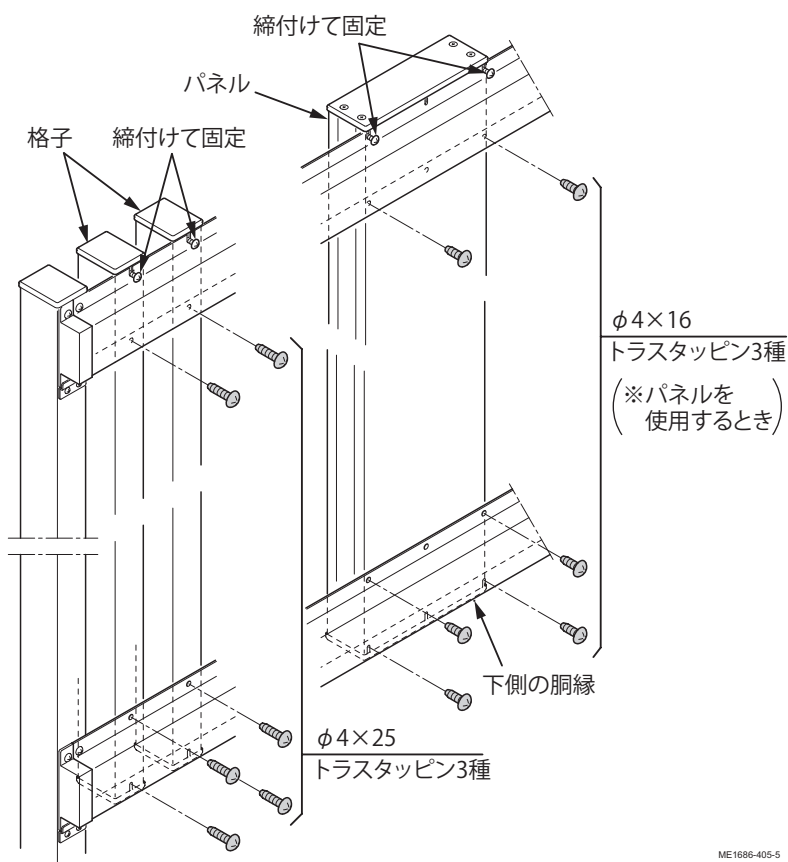


ME1686-404-3



ME1686-401-5

ME1686-402-5



ME1686-405-5

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談センター



0120-126-001